



じぶん え み ひ
自分の絵を見つける日

うらわ美術館
多世代交流ワークショップ

だれ え ひ
誰かの絵とつながる日



みなさんが描きたいものに本気で向き合い描いた絵を、大きなキャンバスに集め、一つの大きな作品をアーティストと共につくるワークショップです。あなたも作者の一人として参加してみませんか？

参加
無料

令和3年1月17日(日)

講師：池平徹兵 (アーティスト)

参加されるみなさまへ

「全ての人は歴史上に初めて登場していて、自分だけが描ける絵を自分の中に持っています。それをみんなで描いてみると、互いのそれらは実は少しずつつながりあっていることが分かります。そのつながりあった部分は物語を生み、この世界は一つの大きな絵本のように出来ていることが分かります。私はそれを目に見えるような形にした作品を作りたいと思っています。」

講師

池平徹兵 いけひらてっぺい (アーティスト)

1978年、福岡県に生まれる。島根大学教育学部保健体育専修在学中より画家として活動。国内での個展多数。海外のアートフェアにも多数参加。2013年、第16回岡本太郎現代芸術賞展入選。2017年、VOCA展選出。小学校や福祉施設でのワークショップ形式による作品制作、東京大学駒場博物館特別展のインストラクターなど、多岐に活動。その瞬間に制作意欲が最も湧くもの、最も塗りたい色だけを日々キャンバスの中に加えていくという方法で、全てのモチーフを本当に描きたい気持ちで描くことを追求している。

日時：令和3年1月17日(日) 10:30~12:30 / 14:00~16:00

会場：さいたま市生涯学習総合センター シーノ大宮センタービル内 10階多目的ホール

定員：各回40名

対象：子どもから大人まで

※子どもは一人で活動できることが条件です。

※小学3年生までは、子どものみ参加の場合も大人の同伴が必要です(会場内にて要待機)。会場内の混雑を避けるため、申込み1組につき同伴は1名までとさせていただきます。

※中学生までは、原則大人の方による送迎をお願いします。

※当館ホームページに、講師や多世代交流ワークショップについて掲載しています。

QRコードからご覧いただけます。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

参加費：無料



うらわ美術館公式HP

お申込み方法

締切り：12月11日(金)必着

往復ハガキまたはインターネット「生涯学習情報システム」にて、①~⑦を明記の上、お申込みください。

- ①ワークショップ名
- ②参加希望時間
- ③参加者名(ふりがな)
- ④参加者年齢
- ⑤住所
- ⑥電話
- ⑦保護者のお名前(中学生以下の場合)

※1回の申込みで2名まで応募可能。ただし席が離れ一人での活動になります。

※お申込みはお一人1回まで。午前・午後両方参加希望の場合、それぞれにお申込みが必要です。

※応募多数の場合は抽選し、結果は締切り後12月19日(土)までにハガキまたはメールにて全員にお知らせします。

《問い合わせ》

うらわ美術館

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F

TEL: 048-827-3215 FAX: 048-834-4327 E-Mail: urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp

表図版 上から 池平徹兵《命のゆくえ》(部分)2016年 油彩 162.0×162.0cm、「絵の中に旅行しよう」(島根大学付属病院・制作風景)、

池平徹兵《全ての日々を必要として明日を作る》(部分)2020年 油彩 73.0×91.0cm、アーツアライブ「A-Health」(東京富士美術館・制作風景)

裏図版 アートラインかしわ2019制作風景

この印刷物は8,000枚作成し、1枚当たりの印刷経費は4円(概算)です。